



(題字 小黒千足 学長)

第374号

(平成8年2月号)



▲ 一足早いひな人形と留学生 (右) 〓 留学生指導相談室

目 次

関係法令 .....	3	学内諸報	
諸会議 .....	3	◆ 教育学部附属学校(園)長の改選 .....	10
学 事		◆ 大韓民国・江原大学校経営大学と学部間 交流協定を締結(経済学部) .....	12
◆ 平成8年度富山大学入学者学力検査(前期 日程)を実施 .....	4	◆ 退官記念最終講義 .....	12
		◆ 学長を囲んでの懇談会を開催 .....	13
人事異動 .....	7	◆ 海外渡航者 .....	14
寄稿 海外レポート		職 員 消 息	
◆ イギリス・ヨークに滞在して .....	8	◆ 住所変更 .....	14
		◆ 新任者住所 .....	14
		◆ 討 報 .....	15
		主 要 行 事 .....	16
		お 知 ら せ .....	18



▲ 10年ぶりの大雪となった構内

## 関 係 法 令

(省 令)

○大学入学資格検定規程等の一部を改正する省令（文部  
2）（平8. 2. 21 官報号外第29号）

(規 則)

○人事院規則10-4（職員の保健及び安全保持）の一部  
を改正する人事院規則（人事院10-4-4）  
（平8. 2. 1 官報第1822号）

## 諸 会 議

第4回生涯学習教育研究センター設置準備委員会

(2月1日)

(議 題)

- (1) センターに係る規則等について（継続）
- (2) センターの教員人事について
- (3) 設置場所について
- (4) その他

第9回学生生活協議会（2月1日）

(審議事項)

- (1) DMに関する学生5団体からの申し入れ書について
- (2) その他

第5回入学試験実施委員会（2月5日）

(審議事項)

- (1) 平成8年度富山大学入学者選抜試験の検査場について

第3回学園ニュース編集委員会（2月13日）

(審議事項)

- (1) 富山大学学園ニュース第90号の編集について
- (2) その他

第5回公開講座委員会（2月14日）

(議 題)

- (1) 平成8年度公開講座の実施計画について
- (2) 放送利用の大学公開講座について
- (3) その他

第10回部局長懇談会（2月16日）

(議 題)

- (1) 当面の諸問題について
- (2) その他

第10回評議会（2月16日）

(審議事項)

- (1) 富山大学学生守則の一部改正について
- (2) その他

第5回生涯学習教育研究センター設置準備委員会

(2月19日)

(議 題)

- (1) センターの初代教授の選考について
- (2) センター長候補者の推薦について
- (3) 設置場所について
- (4) その他

第8回情報処理センター運営委員会（2月19日）

(議 題)

- (1) 総合情報処理センター長候補者の選考について
- (2) その他

第3回留学生会館運営委員会（2月19日）

(議 題)

- (1) 平成8年度富山大学留学生会館の入居等について
- (2) その他

第7回附属図書館商議会（2月20日）

(審議事項)

- (1) 平成9年度歳出概算要求について
- (2) 富山大学図書館資料の不用の決定及び廃棄の基準  
(案)について

第9回情報処理センター運営委員会（2月22日）

(議 題)

- (1) 総合情報処理センター規則(案)について

(2) その他

## 第4回施設整備委員会（2月23日）

（審議事項）

- (1) 自己点検評価委員会からの付託事項について
- (2) 五福団地基幹整備（環境整備）について
- (3) 施設整備委員会の組織について

## 第1回保健管理センター委員会（2月23日）

（審議事項）

- (1) 保健管理センター所長候補者の推薦について
- (2) その他

## 第10回学生生活協議会（2月27日）

（審議事項）

- (1) 富山大学学生守則の改正について
- (2) その他

## 第10回情報処理センター運営委員会（2月28日）

（議 題）

- (1) インターネットの運用についての答申（案）について
- (2) その他

## 第3回廃液処理施設運営委員会（2月29日）

（議 題）

- (1) 平成9年度施設整備概算要求について

学

事

平成8年度

## 富山大学入学者選抜学力検査（前期日程）の実施

平成8年度入学者選抜試験前期日程の学力検査等が、去る2月25日（日）に実施されました。

試験当日は、幸い晴れの天気となり、交通機関の遅滞もなく、試験開始2時間前にはすでに受験生の姿が見え始め、受付の午前9時には、各学部入口の前は受験生でいっぱいでした。

前期日程の受験予定者（個別学力検査等を課さない経済学部夜間主コースを除く。）は3,571人、受験者は3,353人（欠席者218人）で受験率は93.9%でした。また、私費外国人留学生も34人が受験しました。



▲ 試験開始直前の受験生（人文学部検査場）

▲ 試験終了後帰路を急ぐ受験生

平成8年度入学志願者数調

学部	学科・課程	平成8年度				平成7年度				備考				
		前期日程		後期日程		前期日程		後期日程						
		募集人員 (人)	志願者数 (人)	倍率 (倍)	募集人員 (人)	志願者数 (人)	倍率 (倍)	募集人員 (人)	志願者数 (人)		倍率 (倍)	募集人員 (人)	志願者数 (人)	倍率 (倍)
人文学部	人文学科	49	199	4.1	15	152	10.1	64	351	5.5	3.9	11.5	5.7	
	国際文化学科	26	95	3.7	10	94	9.4	36	189	5.3	4.3	6.1	4.8	
	言語文化学科	57	167	2.9	20	86	4.3	77	253	3.3	5.2	12.0	7.0	
	学部計	132	461	3.5	45	332	7.4	177	793	4.5	4.6	10.5	6.1	
教育学部	小学校教員養成課程	70	102	1.5	30	164	5.5	100	266	2.7	2.8	9.1	4.7	
	中学校教員養成課程	24	119	5.0	12	359	29.9	36	478	13.3	3.0	25.1	10.4	
	養護学校教員養成課程	14	61	4.4	6	98	16.3	20	159	8.0	2.8	9.1	4.7	
	幼稚園教員養成課程	21	64	3.0	9	121	13.4	30	185	6.2	4.2	11.7	6.4	
	情報教育	12	39	3.2	6	54	9.0	18	92	5.1	2.5	8.7	4.6	
	課程	8	18	2.4	4	38	9.5	12	57	4.8	2.3	9.3	4.6	
	学部計	149	403	2.7	67	834	12.4	216	1,237	5.7	3.0	12.3	5.9	
経済学部	経済学科	112	318	2.8	31	289	9.3	143	607	4.2	3.4	9.0	4.6	
	経営学科	86	339	3.9	24	245	10.2	110	584	5.3	5.0	12.2	6.6	
	経営法学科	72	432	6.0	20	216	10.8	92	648	7.0	7.0	13.0	8.3	
	計	270	1,089	4.0	75	750	10.0	345	1,839	5.3	4.9	11.1	6.2	
	経済学科	2	13	6.5	4	44	11.0	6	57	9.5	5.0	8.3	7.2	
	経営学科	2	21	10.5	5	54	10.8	7	75	10.7	6.5	12.6	10.9	
	経営法学科	2	10	5.0	5	49	9.8	7	59	8.4	11.0	8.8	9.4	
学部計	6	44	7.3	14	147	10.5	20	191	9.6	7.5	10.0	9.3		
理学部	数学	276	1,133	4.1	89	897	10.1	365	2,030	5.6	4.9	10.9	6.4	
	物理学	30	125	4.2	7	27	3.9	37	152	4.1	5.6	6.0	5.7	
	化学	27	79	2.9	9	40	4.4	36	119	3.3	3.7	3.2	3.6	
	生物	30	93	3.1	8	58	7.3	38	151	4.0	3.2	6.3	3.8	
	地球科学	32	126	3.9	6	46	7.7	38	172	4.5	4.7	5.0	4.7	
	生物圏環境科学	25	90	3.6	5	53	10.6	30	143	4.8	3.9	4.6	4.0	
	学部計	20	71	3.6	5	51	10.2	25	122	4.9	4.1	11.4	5.6	
工学部	電子情報工学科	164	584	3.6	40	275	6.9	204	859	4.2	4.2	5.8	4.5	
	機械システム工学科	86	268	3.1	27	137	5.1	113	405	3.6	3.3	4.5	3.6	
	物質工学科	65	219	3.4	21	97	4.6	86	316	3.7	3.1	5.9	3.8	
	化学工学科	52	260	5.0	16	81	5.1	68	341	5.0	6.0	5.6	5.9	
	学部計	51	287	5.6	16	82	5.1	67	369	5.5	5.7	6.5	5.9	
合計	254	1,034	4.1	80	397	5.0	334	1,431	4.3	4.3	5.5	4.6		
合計	975	3,615	3.7	321	2,735	8.5	1,296	6,350	4.9	4.3	9.1	5.5		

## 平成8年度富山大学入学者選抜私費外国人留学生入学志願者数

区 分		志 願 者 数 (人)		備 考	
		平成8年度	平成7年度(参考)		
人文学部	人文学科	3	5		
	国際文化学科	2	1		
	言語文化学科	8	5		
	計	13	11		
教育学部	小学校教員養成課程	0	1		
	中学校教員養成課程	2	0		
	養護学校教員養成課程	0	0		
	幼稚園教員養成課程	0	0		
	情報教育 課程	教育情報コース	2	2	
		環境情報コース	0	0	
	計	4	3		
経済学部	昼間主コース	経済学科	11	8	
		経営学科	16	12	
		経営法学科	3	0	
		計	30	20	
理学部	数学科	0	1		
	物理学科	0	0		
	化学科	0	0		
	生物学科	0	0		
	地球科学科	0	0		
	生物圏環境科学科	0	1		
	計	0	2		
工学部	電子情報工学科	14	13		
	機械システム工学科	5	11		
	物質工学科	0	1		
	化学生物工学科	1	0		
	計	20	25		
合 計		67	61		

志願者総数67人の国籍別内訳

中国 42人, マレーシア 17人, 韓国 3人, 台湾 3人, 香港 1人, パキスタン 1人

# 人 事 異 動

異動区分	発令年月日	氏 名	異動前の所属官職	異 動 内 容
昇 任	8. 3. 1	川崎 博幸	講 師(工学部)	助教授(工学部)
臨時的任用	8. 3. 1	小森 順子		文部事務官(教育学部)(~8.5.17)
退 職	8. 2. 14	林 敏和	事務補佐員(附属図書館情報サービス課)	平成8年2月13日限り退職した
	〃	青山 拓也	〃 ( 〃 )	〃
	〃	大久保 英	〃 ( 〃 )	〃
	〃	岩城時代美	〃 ( 〃 )	〃
	〃	西村 憲一	〃 ( 〃 )	〃
	〃	近藤 俊彦	〃 ( 〃 )	〃
	8. 2. 18	矢後 恵美	技術補佐員(保健管理センター看護婦)	平成8年2月17日限り退職した
	8. 3. 1	土田 祐知	技術補佐員(経理部主計課)	平成8年2月29日限り退職した
	〃	村田 健吾	〃 ( 〃 )	〃
	〃	小関 元	〃 ( 〃 )	〃
	〃	野村 利里	〃 ( 〃 )	〃
〃	池田 剛	〃 ( 〃 )	〃	
併 任	8. 2. 20	瀧澤 弘	教 授(教育学部)	附属図書館長・評議員(~10.2.19)
育児休業	8. 2. 26	岡元祐里子	文部事務官(教育学部)	育児休業(~8.6.8)
死 亡	8. 2. 26	高島 幸子	附属図書館情報管理課総務係年史編纂 事務主任	死 亡(公務外)

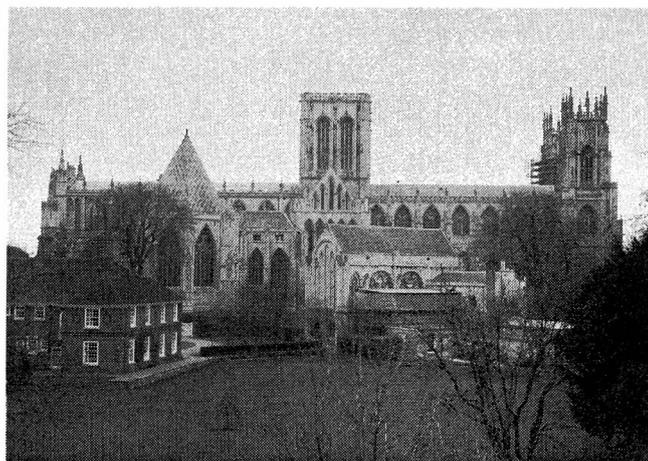
## 寄稿 海外レポート

## 『イギリス・ヨークに滞在して』

人文学部助教授 前川 要

1995年の3月下旬より8ヶ月余り、文部省在外研究員としてイギリスのヨーク大学に滞在した。同大学での滞在の目的は、ヨーク大学考古学部マーチン・カーヴァー教授の下で「ヨーロッパ都市考古学」の研究を行なうことであった。ヨークは、私が高校時代に学校でもらった地図帳で見ると、思わず見落としてしまうほどのイギリス北部の小さな町である。ロンドンから北、約300キロの位置にあり、ロンドンキングス・クロス駅からエディンバラ行きのインターシティーに乗って約2時間でついてしまう。しかし、いったん駅を降りて、城壁のなかの町を歩くと、ローマ時代や中世の雰囲気が満ち溢れ、観光客を含めた人の活気でムンムンする大観光都市という印象がする。

以下に私が研究を行なった町・ヨークのその歴史的雰囲気について述べておこう。まず、街のシンボリック的存在であるヨーク・ミンスター（大聖堂）（第1図）。これは、1220年から1470年にかけて150年の歳月を費やして完成されたゴシック建築で、イギリス一の規模を誇る。夕日に映える堂々としたこの大寺院は一種の幻想的な雰囲気を醸し出し、見るものの心を捉えてしまう。次は、町並みである。ヨークは13世紀初めに大陸との交易がかなり盛んになり始め、商人のギルド（同業組合）が形成された。通り毎に、ギルドが分化しており、肉屋が多く集まったのが、シャンプルズ通りである。建物は、2階・3階



▲ 第1図 ヨーク・ミンスターの眺め

と上に行くにしたがって前に張り出し、通りは狭く、日当たりが悪い方向に作られているのは、肉を出来るだけ一日中低温に保ちたかったためであるという。

とりわけ、ヨークというと有名なのが、ヨルビック・ヴァイキングセンターである。これは今から約1000年程前、北の海からやってきた侵入者ヴァイキングの居住地を発掘成果から現地再現し、彼らの生活や風習などを人形を使った復元展示をして解説をしている。館内は4人のりの電動自転車が備えられており、現在から年代を遡ってヴァイキングの時代まで、タイム・カプセルで行くという形をとっている。展示が非常にリアルである。特に匂いに本物が使われており、動物の煮込みスープがあまりにも臭くて私の家内は、気分が悪くなったほどである。土曜・日曜日には、人が長い行列をなし、普通1時間程度待たないと入場できない。さらに、考古学情報センター（Archaeological Resource Center）と呼ばれる、ヨルビック・ヴァイキングセンターの関連施設では、子供向けの展示が行なわれている。特に、発掘調査で出土した遺物を各時代に分け、解説員が子供たちに土器を実際に手にとらせて説明していることや、コンピューターCD-ROMを使ったヴァイキング時代の発掘成果の判りやすい解説は、大のコンピュータ好きのイギリスの子供たちには、非常に喜ばれている。是非、皆さんがイギリスに行かれれば、特に子供連れであればヨークに立ち寄られることをお勧めしたい。

この様にヨークの市民は、考古学や発掘の何たるかを良く知り、子供たちまで考古学を愛している。そうした歴史的雰囲気に恵まれた中で筆者は、毎日ヨーク・ミンスターを眺め、鐘の音を聞き、中世の石畳の道を踏みしめ、昔のヨークの人は、どのようにこの壮大なミンスターを見て、厳かな鐘の音を感じていただろうかなどと思いながら、楽しく考古学部に通った。

さて、話は戻って、私の研究「ヨーロッパ都市考古学の研究」であるが、特にイギリスにおいては、都市図の復元を行ない建築史学者、文献史学者の学際的研究の上に推進されており、「都市空間研究」と呼ばれている。このような都市空間研究の方法を学んだ後で、発掘調査

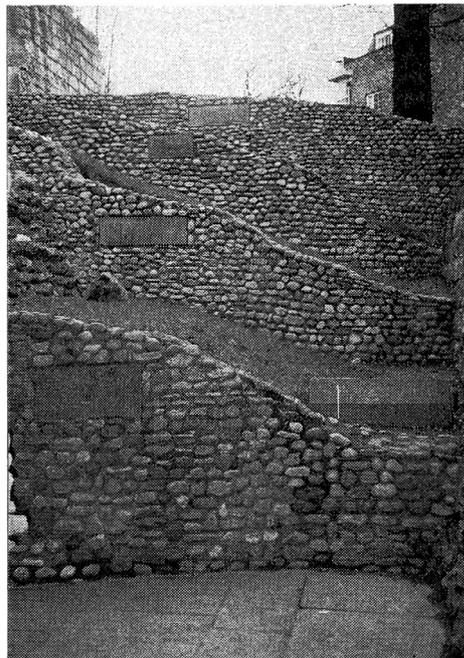
の進んでいるヨーロッパの中世都市、ドイツのリュベック、オーストラリアのウィーン、イタリアのシエナなどの都市構造を分析しようとした。特に、従来明らかになっていない、都市内における宗教施設（大聖堂）、権力者の屋敷（城郭）、商工業者の住んでいるところおよび墓地などの空間的配置のありかた、つまり都市計画の平面形態を比較検討し明らかにしようとした。手っ取り早く言えば、考古学的手法を使って、当時の権力者と商人や職人の関係—それは多くは対立的であり、特に、従順なものであるが—を都市の平面の形から、政治関係を推測して読み取ろうというものである。さらに、考古学からみて造られた年代を押さえ、ローマ時代・中世初期・中世前期・中世後期と年代別に遺構を考えようと試みた。次に示すのは、ヨークの町を取り囲む城壁の基礎の一部であり、見事に地面がかさ上げされていることが良く判る（第2図）。

私の興味は、主として中世初期の都市が如何に出来てくるかということにあり、ヨークはそれをうまく説明してくれた。つまり、中世初期（9世紀）の都市的な場、つまり人が沢山集まって物資が動く場所、市場—多くは河川の傍に出現するのであるが—は、宗教施設の周辺に作られる。さらに、それを管理しようとする権力者の屋敷がその付近に作られる。そして中世前期（11世紀半ば）になって、ノルマン人がやって来て城壁を作ると、それ

らが離れた所に移動してしまうというパターンが、考古学を踏まえた「都市空間研究」の視点から理解できた。

私は、これと同様のパターンが8世紀末あるいは9世紀から12世紀にかけてドイツ、オーストリアやイタリアでも検証することができると考えている。ヨーロッパ世界においては、ローマ帝国崩壊後、しばらくしてフランク王国が成立するが、その権力下で修道院ネットワークができ、その周辺に市場が作られて、物資流通が活発に行なわれていたと近年の研究では言われている。ヨークの状況は、それと非常によく似ている。今後さらなる日・欧の間での比較研究が進められれば、今のところ良く判っていない日本における中世都市成立の時代についても解けると考える。さらに、その上アジアの中世都市史全体の中での日本の都市の位置付けまで考えれば、より日本の中世都市の特色が判るのではないかなと夢を大きく膨らましている。

依頼されたよりも紙面を大幅に超過したので、これで筆を置くことにするが、私の今回の在外研究における成果や経験は以上に示すように非常に有意義であり、今後教育や研究に、最新の成果を盛り込んで、是非活かしていきたいと考えている。最後に、私の不在中、人文学部をはじめ多くの方々に職務上の負担をおかけしましたことを、この場をお借りしてお詫び申し上げます。



▲ 第2図 ヨーク・ミンスター裏の土塁基礎の断面（ヨークの歴史がよく判る。下からローマ時代（古代）、中世初期（5世紀から10世紀）、中世前期前半（11世紀から12世紀）、中世前期後半（13世紀から））

## 学 内 諸 報

## 次期教育学部附属学校（園）長の改選

教育学部附属小学校長、同中学校長、同養護学校長及び同幼稚園長の任期が、平成8年3月31日で満了することに伴い、教育学部教授会は、去る2月21日(水)に次期附属学校（園）長候補者の選挙を行いました。その結果、附属小学校長に松井政明教授、同中学校長に中村義朗教

授、同養護学校長に宮崎州弘教授、同幼稚園長に長谷川総一郎教授がそれぞれ選出されました。

中村義朗教授、長谷川総一郎教授は新任、他の2名は再選となり、任期は平成8年4月1日からそれぞれ2年間。

## 教育学部附属小学校長に松井教授が再選



次期附属小学校長の松井教授は、昭和38年3月広島大学教育学部卒業、昭和40年3月広島大学大学院文学研究科修士課程修了、公立学校教員を経て、昭和62年4月富山大学教育学部助教授、平成4年2月教育学部教授となり、平成6年4月から附属小学校長を併任され、現在に至っています。

担当は、社会科教育  
福岡県出身

（就任の抱負）

このたび120年の歴史と伝統をもつ附属小学校の校長に再選されました。これからの2年間も、指導と実践研究に多忙な日々を送っている先生方と協力して、子供達に視点を定めながら、子供の良さを生かす授業を求めて学校運営に努めていきたいと考えています。

しかし一方で、小子化という社会現象を背景に教員の需要が減ったため、今、教員養成学部の改革が求められています。それと関連して必然的に附属学校の在り方も問い直されていると言ってよいでしょう。伝統を大事にしながらも、附属の新しい在り方・方向を模索しなければならない時期にあると考えます。皆様の御協力と暖かい御支援をお願い申し上げます。

## 教育学部附属中学校長に中村教授を選出



次期附属中学校長の中村教授は、昭和35年3月富山大学教育学部を卒業後、公立学校等教員を経て、昭和54年4月富山大学教育学部講師、昭和56年4月教育学部助教授、平成

元年10月教育学部教授となり、現在に至っています。

担当は、音楽科教育  
石川県出身

（就任の抱負）

春の訪れとともに、新入生を迎え、学内には若い生命

が芽吹きます。

このたび、4月1日付けで、昭和48年より6年間在職した教育学部附属中学校長を兼務することになりました。古巣で再び勤務することには感慨深いものがありますが、時が移り、人が変わった今日、旧来の教育の在り方では対処できない様相が見受けられることは社会の進展とともに自然な成り行きであろうかと存じます。

私達は今、21世紀を展望した学校教育はどうあるべきか、それらをどのように具体化し、実行すべきかを真剣に考えなくてはなりません。学ぶ側が求めているものは何かを、学ぶ側の視点でとらえ、学校教育の活性化を目指したいと考えております。

諸先生方の御指導、御鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。就任の御挨拶といたします。

## 教育学部附属養護学校長に宮崎教授が再選



次期附属養護学校長の宮崎教授は、昭和40年3月東京教育大学教育学部卒業、昭和46年3月東京教育大学大学院教育学研究科修士課程修了、昭和52年3月同研究科博士課程を単位取得後、戸板女子短期大学講師等を経て、昭和52年7月富山大学教育学部講師、昭和54年6月教育学部助教授、平成元年4月教育学部教授となり、平成6年4月から附属養護学校長を併任され、現在に至っています。

担当は、教育学  
長崎県出身

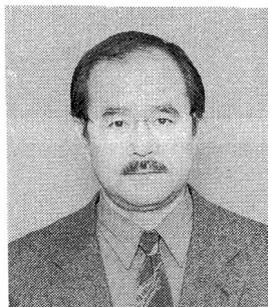
(就任の抱負)

力量もないのにもう一期勤めよというのだから正直いって気が重い。ほかに有能な方がいらっしゃるのだからできれば交替したくらいであり、学部・附属の皆様の御協力をお願いするだけです。

附属養護学校は今年創立20周年を迎え、11月1日には記念式典を予定しており、大学・学部の皆様にも是非御支援をいただきたい。

また、附属養護学校一同念願の生活訓練棟が一日も早く設置されるよう、皆様の御理解と御援助をいただきたい。

## 教育学部附属幼稚園長に長谷川教授を選出



次期附属幼稚園長の長谷川教授は、昭和43年3月富山大学教育学部を卒業後、公立学校教員を経て、昭和48年4月富山大学教育学部助手、昭和52年4月教育学部講師、昭和56年4月教育学部助教授、平成4年5月教育学部教授となり、現在に至っています。

担当は、美術科教育  
富山県出身

(就任の抱負)

このたび附属幼稚園長に選出され、園児の幼い命と成長をお預かりする責任の重さを痛感し、身の引き締まる思いをいたしております。附属学校園は、教員養成における教育実践の指導と研究への寄与を目的として成立し、そのために日ごろの実践研究があるものと理解しております。これを達成するために学部の先生方には教科・専攻を問わず気軽に園にきて下さいまして園の活動と研究への御理解と御支援をお願いいたします。日々の教育研究の進展や環境の整備をはじめとし、学部との望ましい連携の展開に微力ながら力を尽くしたいと思いますので、何とぞよろしく申し上げます。

## 大韓民国・江原大学校経営大学と学部間交流協定を締結

経済学部では、平成8年2月1日に大韓民国の国立総合大学である江原大学校経営大学との間で、増田経済学部長と柳経営大学長が学術交流に関する協定書を取り交わしました。

今回の協定締結により、環日本海経済のより深い調査研究、教員・学生の交流及び学術出版物等による情報交換を主な柱とした両学部間の交流を進めて行くこととしています。

また、今回の締結に併せ、相互に授業料等を不徴収とする学生交流に関する覚書も締結したことから、本協定に基づき特別聴講学生を本年3月から受け入れることとしています。

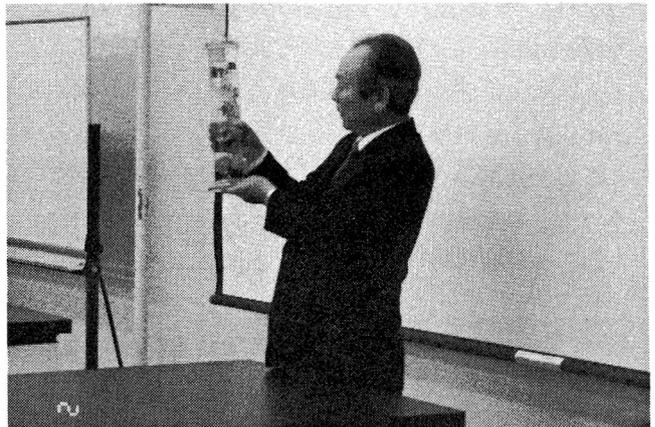


▲ 協定書に署名する増田経済学部長(左)と柳経営大学長

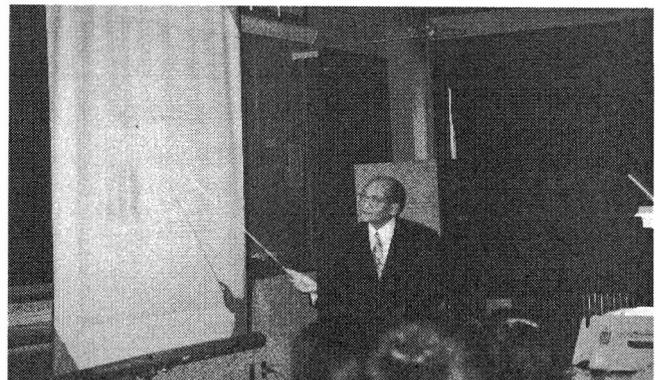
## 退官記念最終講義

御退官される下記教官の最終講義が行われ、多数の学生・教職員等が終始熱心に聴講しました。

- 教育学部 長井真隆 教授  
2月6日(火) 17:00~18:45  
教育学部第2棟理科教育実験室  
「富山の自然に思う」



- 教育学部 石原 務 教授  
2月8日(木) 15:00~16:30  
教育学部第1棟5番教室  
「発達における脳のしなやかさとかたさ」

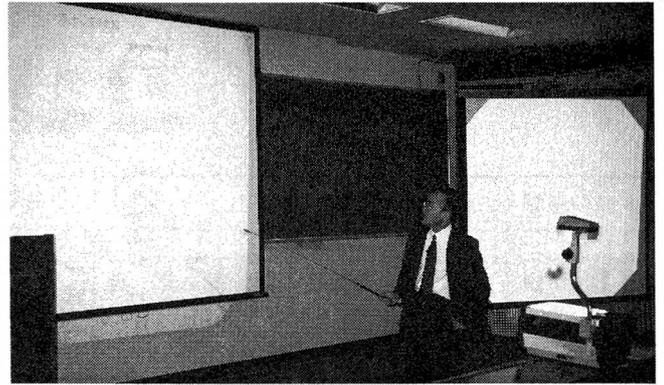


○理学部 松本賢一 教授

2月13日(火) 15:30~17:00

理学部2号館第10講義室

「素粒子像の変遷の中で」



### 学長を囲んでの懇談会を開催

本学女子職員による「学長を囲んでの懇談会」が、平成8年2月8日(水)12時10分から事務局大会議室において、教官、事務官等54名が参加して開催されました。

学長から、教育制度の流れ、大学が現在おかれている立場、今後の大学の在り方等についての考えが述べられ、その後、参加者から、学長の研究分野や老後の生きがい等についていろいろな質問が出され、なごやかな雰囲気の中で進められました。

参加者からは、「学長を身近に感じた」、「学長の人柄に触れることができよかった」等なかなか好評でした。



## 海外渡航者

渡航の種類	所属	職	氏名	渡航先国	目的	期間
外国出張	工学部	助教授	西村克彦	フランス王国	低温希釈冷凍機実験及び低温希釈冷凍機に関する研究資料収集	8. 2. 3 / 8. 2.14
	教育学部	助教授	市川文彦	連合王国	近代ヨーロッパ経済史の研究	8. 2.14 / 8. 3.26
	工学部	助手	米山嘉治	アメリカ合衆国	分散触媒を使用した触媒水素化反応に及ぼす水の促進効果の調査研究	8. 2.29 / 8. 8.30
海外研修	人文学部	外国人教師	S. E. ローベ	ドイツ	ドレスデン工業大学において、「教育の国際的比較」の研究協議に参加及び文献収集を行う	8. 2.11 / 8. 3.18

## 職員消息

### 〈住所変更〉

部局名	官職	氏名
教育学部	教諭	野崎和仁

### 〈新任者住所〉

部局名	官職	氏名
工学部	文部技官	岩城暁子

## 訃 報

## 富山大学附属図書館情報管理課総務係

## 年史編纂事務主任 高島幸子氏逝去



附属図書館情報管理課総務係年史編纂事務主任高島幸子氏は、平成7年8月より病気療養中のところ、平成8年2月26日に逝去されました。享年56歳。

高島主任は、昭和36年4月富山大学工学部に勤務され、同43年4月経済学部、同48年5月教育学部、同58年4月人文学部・理学部、同62年4月経済学部、平成5年4月人文学部・理学部庶務係庶務主任、同7年4月附属図書館情報管理課総務係年史編纂事務主任に配置換となり、この間34年11月の永きにわたり、大学の

庶務事務並びに学生の厚生・教務事務に精通し、持ち前の適切な判断力と責任感をもって職務を全うされ、常に本学の中堅職員の範として活躍されておりました。

さらに、富山大学年史の刊行と本学の発展に御尽力いただけるものと期待されていただけに、その御逝去が惜しまれます。

ここに、同氏の御冥福を祈り、謹んで哀悼の意を表します。

# 主 要 行 事

## 本 部

- 2月1日 入学者選抜方法研究委員会副主査会議  
2日 平成7年度国立大学学生部長会議  
(東海大学校友会館)  
5日 学内会計監査(工学部, 地域共同研究センター)  
6日 〃 (教育学部)  
7日 〃 (事務局ほか)  
8日 〃 (人文学部, 理学部)  
合格発表(人文学部推薦入学)  
学長を囲んでの懇談会  
9日 第5回国際交流委員会学術交流部会  
学内会計監査(経済学部, 附属図書館)  
14日 国有財産システム説明会(富山医科薬科大学)  
14~15日 服務制度説明会(金沢合同庁舎)  
15日 動態統計調査説明会(KKR加賀)  
推薦入学特別選抜入学手続  
19日 入学者選抜方法研究委員会副主査会議  
第9回国際交流委員会留学生部会  
19~20日 言語表現科目特別講義及び研修会  
19~23日 JST指導者養成研修(金沢大学)  
20日 第8回カリキュラム等見直し検討小委員会  
学位記の英訳文作成検討委員会  
21日 第3回教養教育委員会管理運営専門委員会  
第7回教養教育委員会実施専門委員会  
(持ち回り)  
22日 第8回教養教育委員会企画専門委員会  
25日 個別学力検査(前期日程)  
27日 インターネット運用検討委員会  
学生生活協議会学生生活実態調査検討会  
28日 国立大学協会第6常置委員会  
28~29日 給与実務担当者研修(人事院中部事務局)  
29日 第6回自己点検評価委員会管理運営専門委員会

## 人 文 学 部

- 2月2日 大学院人文科学研究科(修士課程)選抜検査  
6日 後学期授業終了  
7日 教授会

## 教授会(人事)

- 8日 学部将来計画委員会  
9日 学部国際交流委員会  
13日 学部情報処理委員会  
14日 教授会  
教授会(人事)  
大学院人文科学研究科委員会  
15日 学部将来計画委員会  
21日 独立大学院研究科(博士課程)設置検討委員会(仮称)  
23日 学部将来計画委員会  
25日 平成8年度入学者選抜学力検査(前期日程)  
平成8年度富山大学人文学部私費外国人留学生選抜検査

## 教 育 学 部

- 2月1日 学部教育実習検討委員会  
附属小学校第1次選考(発育検査)  
2日 学部教育実習委員会  
4日 附属中学校第1次選考(学力検査)  
6日 後学期授業終了  
附属小学校第2次選考(抽選)  
7日 学部将来計画委員会小委員会  
学部教務委員会  
教授会  
人事教授会  
8日 附属中学校第2次選考(抽選)  
9日 学部拡大将来計画委員会  
13~15日 合宿研修(冬期)  
16日 学部将来計画委員会小委員会  
学部改組に係る意見交換会  
20日 附属養護学校教育実践研究会  
21日 学部将来計画委員会小委員会  
教授会  
25日 平成8年度入学者選抜学力検査(前期日程)

## 経 済 学 部

- 2月5日 学部施設整備委員会

- |                          |     |                      |
|--------------------------|-----|----------------------|
| 大学院経済学研究科委員会小委員会         | 5日  | 平成7年度学内定期会計監査        |
| 6日 博士課程設置検討委員会           | 13日 | 専門高校3大学プロジェクト担当者会議   |
| 学部教務委員会                  | 14日 | 教授会                  |
| 7日 後学期授業終了               |     | 研究科委員会               |
| 財務委員会                    |     | 専任教授会                |
| 人事教授会                    |     | 博士後期課程委員会            |
| 大学院経済学研究科委員会             | 22日 | 人事院技術職員実態調査          |
| 教授会                      | 25日 | 平成8年度入学者選抜学力検査（前期日程） |
| 9日 平成7年度学内会計監査           |     |                      |
| 13日 日本海経済研究所運営委員会        |     |                      |
| 学部入学方法検討委員会              |     |                      |
| 15日 夜間主コース運営委員会          |     |                      |
| 学部学生生活委員会                |     |                      |
| 学部留学生委員会                 |     |                      |
| 16日 学部施設整備委員会            |     |                      |
| 19日 就職に関するガイダンス          |     |                      |
| 20日 学部教務委員会              |     |                      |
| 助手室業務運営委員会               |     |                      |
| 大学院経済学研究科委員会小委員会         |     |                      |
| 21日 博士課程設置検討委員会          |     |                      |
| 人事教授会                    |     |                      |
| 大学院経済学研究科委員会             |     |                      |
| 教授会                      |     |                      |
| 23日 学部教務委員会（持ち回り）        |     |                      |
| 25日 平成8年度入学者選抜学力検査（前期日程） |     |                      |

附属図書館
-------

- |       |                     |
|-------|---------------------|
| 2月15日 | 第5回年史編纂項目・構成等検討小委員会 |
| 20日   | 第2回「書香」編集委員会        |

地域共同研究センター
------------

- |      |                         |
|------|-------------------------|
| 2月1日 | 先端技術講演会                 |
| 16日  | 材料部会第8回研究発表会<br>先端技術講演会 |

理学部
-----

2月1日～2日

- |     |                             |
|-----|-----------------------------|
|     | 大学院理学研究科（修士課程）入学者選抜検査（第2次）  |
| 6日  | 後学期授業終了                     |
| 7日  | 大学院理学研究科委員会<br>教授会<br>人事教授会 |
| 8日  | 学部入試改善委員会                   |
| 13日 | 学部就職指導委員会                   |
| 16日 | 学部教務委員会                     |
| 21日 | 学科長会議                       |
| 25日 | 平成8年度入学者選抜学力検査（前期日程）        |

工学部
-----

2月1日 機種選定委員会

# お知らせ

年史編纂委員会より

## 写真などの資料提供のお願い

平成11年（1999年）富山大学は創立50年を迎えます。この記念行事の一つとして、平成7年に「富山大学年史編纂委員会」が発足し、附属図書館に「年史編纂室」が設けられました。構想されている内容は、『通史（総説編）』『各部局史』『資料編』（いずれも仮称）の3部構成で、A4版・約1500ページ、平成11年発行の予定です。

編集委員会では、まず『通史（総説編）』の年代区分・項目・構成の検討を先行させ、ほぼ『通史』の構成に合わせて『各部局史』を作成する方向で作業が進められています。富山大学の年史としては、すでに『富山大学十五年史』が刊行されていますが、今回の年史は、この創立期を含め、20世紀後半の半世紀における富山大学の発展の跡をたどり、さらに、21世紀に向けての展望を示すものになりたいと考えています。

しかし、すでに散逸した資料も多く、この機会に、皆さんから古い写真や、資料などを提供していただき年史編纂に役立つほか、貴重な資料として附属図書館で保管したいと考えていますので御協力の程お願い申し上げます。

もちろん、思い出深い写真や資料などの場合は、お申し出にしたがって、大切に扱い、コピーを取らせていただいたあと、お返しいたします。

また、今後、執筆などで多くの方々に御協力をお願いすることになると思いますが、その節は、どうぞよろしくお願い申し上げます。

富山大学附属図書館年史編纂室  
富山大学年史編纂委員会

編 集	富山大学庶務部庶務課 富山市五福3190
印刷所	あけぼの企画株式会社 富山市住吉町1丁目5-18 電話 (24)1755(代)